

支援プログラム

作成日 2025年2月1日

八尾市立障害者総合福祉センター

児童発達支援

営業時間 9:00-16:00

送迎の実施 有

社会福祉法人 虹のかけはし

法人理念 ①ご利用者様の自立と人権を尊重し、一人ひとりが主人公になれる生活を実現する

②その人の立場に立って考え、心動かし、行動する

③「心の共利共生」をテーマに社会と地域のまちづくりに貢献する



支援方針

- ① 一人ひとりが安心・安全に生活ができ、自発的に自己発揮ができる。
- ② 保育者との安定した関わりの中で、思いや気持ちを表現しようとする。
- ③ 保育者を仲立ちとし、友達と一緒に様々な遊びを経験する。

主な行事

お花見 こいのぼり製作 クッキング プール遊び 夏祭り
ハロウィンパーティー クリスマスパティー バレンタインイベント
ひな祭り製作 卒業記念イベント 戸外保育 収穫祭 芋ほり 等
★幼児から高齢者までが利用する施設であり、お誕生日会や季節のイベントは合同で実施するなど世代交流も行っている。

職員の質の向上

専門的な知識技術向上を目的に
外部研修・オンライン研修への参加
施設内での実践報告会
日本教育医学会での発表
HPS 国際シンポジウム・研究大会での発表



家族支援

- ① デイでの生活の様子を具体的に伝えながら信頼関係を築き、困りごとや不安を一緒に考えていけるようにする。
- ② 子育ての楽しさや大変さに共感しながら、家族と一緒に子どもの成長を喜び合い、子どもが安心して生活できるようにする。
- ③ 必要に応じてご家族からの相談に対する助言やきょうだいを含めた子どもの発達上の課題について一緒に解決できるように務める。

移行支援

子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わる健康・医療・福祉・教育などの関係機関で情報共有を行い、円滑に支援が引き継がれるようにする。また、関係機関との連携を行い、地域で適切な支援が受けられるように務める。

地域支援・地域連携

- ① 折に触れ、地域の季節行事や近隣小学校等のイベントに参加し、地域の子子ども達との交流を図る。
- ② 保育園への移行や就学に向けての引継ぎや必要に応じて電話連絡や訪問を行い、支援や連携を行う。
- ③ おさんぽ絵本（街かど図書館）をオープンスペースに設置し、地域の子子ども達も自由に絵本を借りられるようにしている。

健康・生活

健康に留意し、安心・安全に過ごせるように環境を整える。

健康状態の把握、睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムや生活習慣の形成、生活に必要なスキルの獲得を目指す。



人間関係・社会性

第一に身近な保育者との親密な関係を築き、その信頼関係や愛着を基礎として周囲の人との安定した関係を形成する。

保育者が仲立ちをしながら集団活動への参加を促し、役割分担やルールを守って遊ぶ共同遊びを通して社会性の発達を支援する。

また、気持ちを整理したり、折り合いをつけたりし、情動の調整を保育者と一緒に行っていく。



認知・行動

日課の繰り返しや遊びの積み重ねにより認知や行動の手掛かりとなる概念を形成し、行動につなげるという認知機能の発達を促す。活動プログラムが固定化しないように工夫し、様々な活動体験や経験を通して対象や外部環境の適切な認知と行動の習得を目指す。



運動・感覚

運動遊びや感覚遊びなど遊びや生活を通して自分の身体を知り、身体の使い方を習得できるように一人ひとりの発達過程や感覚特性を踏まえて支援する。移動器具や補助用具等を用いて日常生活に必要な姿勢と運動・動作の向上を図る。保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるように遊びを通して支援する。



言語・コミュニケーション

他者との関わりの中で自分の思いや願いが十分に発揮できるように支援する。言語表現のみならず、子ども達の非言語コミュニケーションや様々な表出が引き出せるような関わりをする。

言語の発達、自発的な発声を促すこと、相互的なやりとりを楽しむこと、話し言葉・文字・絵カード・サイン等を踏まえたコミュニケーションツールを活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。

その他

★デジタルリハビリ

デジタルアートとリハビリが融合したツール、デジタルリハビリを導入しており、楽しみながら身体を動かし、姿勢を変えて遊ぶことができる。身体機能の向上やコミュニケーションツールの獲得に繋げる。

★スヌーズレン室

子ども達が光の世界で心身共にリラックスできることを目的にギャラクシールームを設けている。